

ふれて、知って、まもる、げんきな山の未来。

# もりりん

NO.1 TAKE FREE  
2019.3

山を元気にするためにふれる号

特集  
げんきな山のクライテリア

木の家が持つ魅力をチェック  
快適な暮らし

わたしたちが参加できること  
森づくりへの馳走

イロイロ詰まった  
積み木のコーナー

森からの豪華プレゼント

「mamorri」から「もりりん」へ。  
山の未来を考える冊子、創刊。

写真が動き出すAR(拡張現実)や

熱燗ドラゴン、マモルンパペットが

SNSで発信中!



いろいろな種類の木があるね。

あちこちへ枝が広がっているよ。

地面がふかふかだね。カブトムシがいそう！

土が湿っている。

地面の近くにもいろいろな色の葉っぱがあつて、森が明るい感じがする。

# 針葉樹の森

## 広葉樹の森

どんなふうに違うかな？

「特集」げんきな山のクライテリア

森を歩いてみるとそこには、たくさんの気づきがあります。  
森ってどんなところ？  
子どもたちと一緒に、針葉樹の森と広葉樹の森へ出発。  
2つの森の違いを、感じてもらいました。



木が順番に並んでいるから数えやすいね。1,2,3。

見たことのある木が多いね。

お空に向かって、シューッと真っすぐ生えているね。

地面が固くて、踏むとしっかりしるね。



### 広葉樹

- サクラ、ケヤキ、ブナなど。
- ゆっくり成長するものが多く、木材は緻密で重く、硬い木が多い。
- 葉は平べったく、枝分かれて横に大きく広がる樹種が多い。
- こもりと丸い形の木が主流。

### 針葉樹

- マツ、スギ、ヒノキなど。
- 比較的早く成長するので、木材は軽く柔らかい木が多い。
- 葉が針のように細長く、幹がまっすぐ上に向かって伸びる。
- クリスマスツリーのような形の木が多い。

この日の取材の様子はこちらから。

YouTubeチャンネル「もりりん」

### 本日の行程

1 さあ、出発だ！

この日、針葉樹の森と広葉樹の森について勉強するのは、小学1年生から4年生までの7人の子どもたち。案内するのは、情報交流館施設長の濱口佳太さんです。森へ出発する前に、葉っぱで名札をつくりましょう。



2 森っておもしろいな

鼻を近づけてみると、甘いにおいが出ませんか？ 枯れ葉になってからにおい出すタカノツメの葉っぱです。広葉樹であるタカノツメの葉っぱは広くて平べったい形をしています。



みみず発見！

3 また来たいね

ひとつの木のなかに、いろいろな形の葉っぱがつくなんて不思議〜！



カクレミノの木

ARのある写真はスマホをかざすと写真が動き出す！詳しくは裏表紙へ。



AR



ねえ、冠みたいでしょ？  
ウラジロの葉

高知県立 森林研修センター 情報交流館  
高知県香美市土佐山田町 大平80番地  
TEL / 0887・52・0087  
<https://www.k-kouryu.net/>

「特集」  
げんきな山のクライテリア

森へ遊びにいこう！

ここは、アジロ自然の森。  
野鳥の声が聞こえるよ。  
ふかふか、葉っぱのお布団みたい。  
森って不思議だね、楽しいね。  
子どもたちが全身で、  
元気な森を味わいました。

スタッフがしっかりサポートするので、不安になる必要はありません。



この日の取材の様子はこちらから。

YouTubeチャンネル  
「もりりん」



見て見て！ぼく、登れたよ！



葉っぱでふかふかだよ。



「登っておいでよ！」ツリーハウスは大人気。



あそこに、しいたけが生えているよ。食べられるかな？

頂上で全員集合。本の読み聞かせのあとはお弁当タイムです。



たき火の横に芋を並べて準備。森から下りてくる頃にはホクホクの焼き芋に。

自立する心を養う、  
森のようちえん。

高知市朝倉にある「アジロ自然の森」では、毎月第一日曜日に「自然体験&森のようちえん」が開催されています。  
この日、イベントの参加者は1歳から11歳までの子どもたちと親御さん、およそ50人。主催者である『アジロ山の自然と環境を守る会』の事務局長・松岡武志さんご夫妻は、「大人があまり近くにいないと、子どもは自立できません。自分でやろうという心を養うことが大事です。それをふまえて、お子さんと一緒に行動してあげてください」と、親御さんにお願いをしました。  
今日の行程は、遊歩道に沿って山を登り、中継地点ではブランコに乗ったり、岩を登ったり、ツリーハウスに上がって遊びます。頂上で本の読み聞かせが行われた後、お弁当タイムに。その後、山を下りて焼き芋のおやつを食べ解散します。

痛い経験から学びよう。

遊歩道を歩き始めてすぐに、子どもたちは思い思いに遊びを見つけていきます。山頂の手前では、次々と岩に登り始めます。最初はこわがっていた子どもも、他の子が楽しそうに登る姿が気になって仕方がないようです。ついに登り始め、登りきった瞬間、子どもも親御さんも、なんともいえない笑顔になりました。小さな危険を経験しながら「こうしたら、どうなるか」を学ぶことは、子どもが成長していくなかで非常に大事なことです。例えば、木の根っこにつまずけば転びます。その痛い経験から、どうすれば転ばないかを自分の頭で考えることになるのです。

森で遊べば、みんな笑顔。

大人に見守られているという安心感の中で、子どもたちが思い思いに動き回ります。その表情はみんな生き生きしています。子どもたちは、自分の力でできれば自信をもち、できなければ自分ひとりの力の限界を知り、仲間同士で助け合っ気持ちを持っていくのです。少々の怪我をするのは自然なこと。そのような経験から、子どもたちは危険を感じ、それを学び、成長していきます。子どもを信じ、親御さんも一緒に成長していく場所。来るたびに思い出が増えていく場所。それが森なのです。



森のぶらんこだ！背中をおして～。

**アジロ自然の森**  
数年前まで不法投棄の山だったアジロ山を、地元住民と協力して整備。「なくそうアジロ山のゴミ」のイベントの開催、国土緑化推進機構などの補助金利用による「アジロ山の自然」整備、「森のようちえん」などの子育て支援事業、及び、ツリーハウス・ブランコ・木渡りロープなどを作ることで親子と一緒に体験できる森を実現しています。

高知市朝倉己 TEL/090・1001・1268(松岡)  
f <http://www.facebook.com/AjiroZiRannoSen/>

# 新しい「もりりん」のスタートに向けて

私たちは毎日、山を見ながら暮らしていますが、  
 本当は、山や森にたくさんまもられているんです。  
 これからはじまる「もりりん」で山や森のことを紹介していきます。



カッシー ハーリー モリリン マモリン ナーラ

高知県は「84の森」ってよく知っているけど、どっぴろ意味？

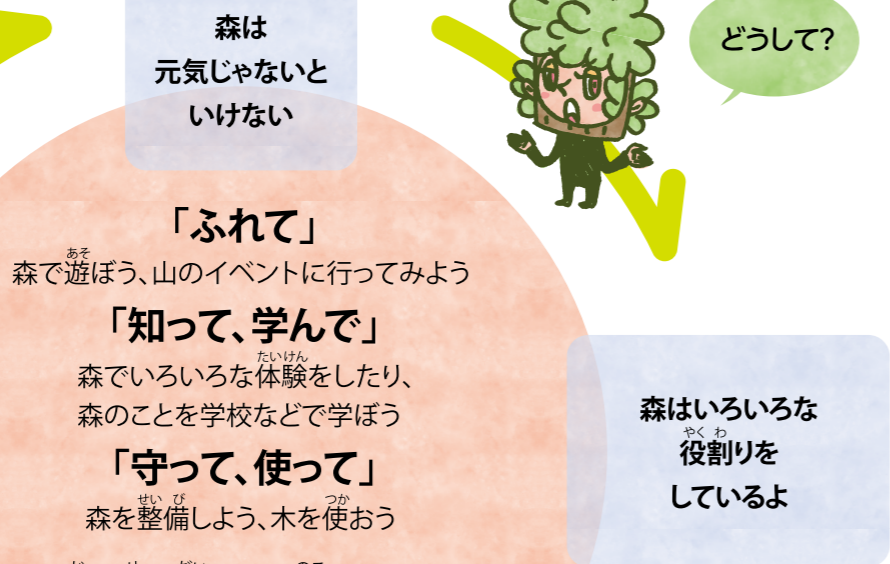
森林のわりあい（森林率）が84%で日本一なのよ。\*

その中で、人の手で育てられている森はどのくらいあるの？

だいたい65%で日本で二番目に高いんだよ。\*

\*1 森林率の全国平均は67%です。ちなみに、二位は81%の岐阜県です。 \*2 人工林率といい、全国平均は41%です。ちなみに、一位は67%の佐賀県です。

## 「もりりん」で伝えること



生活のなかでできることをしよう

どうして？

どうやって守る？

山のしごとをしている人やボランティアさんの活動も大切なんだ

## 次世代に残そう みんなの森

森林環境税を使って、間伐を進めたり、シカの被害をふせいでいるよ

「もりりん」や「EYE」や「森のじいちゃん」もいっぱい知ってほしいな。これからも続けて読んでね！



元気な森で あり続けること

私たちが暮らす日本は、人口が多く、工業がさかんな国としては、およそ3分の2の面積が森という、世界でもめずらしい国です。これは、昔から人びとが森を大切に育てながら、生活に利用してきたおかげです。

森のはたらきと 私たちの暮らし

木が元気に育ち、生きものがたくさんすんでいる森は、目に見えないところでさまざまなはたらきをしています。たとえば、土砂くずれなどを防いだり、降った雨を少しずつ川へ流したりすること、安心して暮らすことができます。また、育てられた木は、家を建てたり、木の製品をつくったり、新しいエネルギーになったりすること、暮らしの中で役立っています。

元気な森を まもる人たち

暮らしをまもってくれる元気な森が育つためには、雨や日光など自然のチカラも必要です

森のために私たちが できること

私たち一人ひとりが、森の中に入って、手入れをすることはむずかしいですが、生活の中にも、森をまもるためにできることがあります。森のことを学び、知ることが出来る山のイベントに参加したり、森をまもる活動に募金したりすることや、木のグッズや家具を買ったり、木の家を建てたりすること、木材を使うことです。これらはすべて、元気な森をまもる人たちの手助けすることにつながるのです。

木の家が持つ魅力をチェック。

# 【快適なくらし】



自然素材が持つ吸湿機能を、暮らしの中で感じられます。



建築過程を見守りながら、ただただ、完成が楽しみだったという山中さんご家族。みんなの大好きな家ができました。



和室を中心に動線を確保したことで、広々と、使い勝手のよい空間になっています。

## 木の存在感がある家

高知市中久万の閑静な一角に建つ、黒い外壁とヒノキの木色とのコントラストが美しい家。落ち着いた感じがありながらも個性的な外観に、思わず目をうばわれます。

ここは、山中さんご家族の木の家。玄関に入ると、2階のリビングから、ご夫婦と2人のお子さんの楽しい笑い声が響きます。

山中由喜さん、真奈美さんご夫妻が、家を作る決心をしたのは2016年3月初め。建築士に相談に行き、何回かの打合せを経て、2017年5月に完成しました。

## わんぱくざかり、大歓迎！

風の通りや、日当たりを計算した梅原佑司建築士の提案で、リビング

ングは2階。天井は構造材であるスギの木を、あらわして見せることで、木の傘の下で暮らしているような、落ち着いた空間になっています。

リビングの床はナラ材のフローリング。小上がり和室の周囲には、口の字にぐるりと廻れる動線が確保されています。おかげで、リビングからダイニングまで、障害物もなく、わんぱくざかりの子どもたちは思う存分走り回れます。

夏はビールを飲みながら、ハーベキューをしたいという由喜さんの希望をかなえたのが、リビングから続くデッキバルコニー。ここにはヒノキ材を使用しています。

## ずっと居たいと思う家

「縁側に出て月見をしたり、星を見たり。ゆっくり、のびのび、家族

で過ごしています。」と話す

由喜さん。木の香りと、視界に入る木目に、自然と気持ちが落ち着くといひ、引越したその日から、ご家族みんなが、違和感なく暮らすことができたといいます。

休日は、外食にすることも多かったという山中さんご家族ですが、今では家でゆっくりするのが定番。友人やお客さんを招く機会も増えました。「みんなが、この家はなんだか落ち着くと

いってくれるんですよ」。由喜さんも真奈美さんも、とっても嬉しそうです。

山中さんご家族が「ずっと居たい」と思う場所。ここは、ぬくもりのある木の家でした。



## 山中さん一家の経験から

### 木の家づくり Q&A

- Q 完成まではどれくらい？  
A 最初に建築士さんに相談に行ってから、1年ちょっとです。
- Q 建築士にリクエストしたイメージは？  
A シンプルで、長く子どもたちの代になっても住めるような家。
- Q 最初から木の家に決めていた？  
A 元々は建築士さんのすすめですが、話を聞いてその気(笑)。県産材を使用したことで、県からの補助金がもらえたんですよ。



### 高知県からのお知らせ

高知県には、木材を使った家づくりを応援する「こうちの木の住まいづくり助成事業」があります。高知県産材を使用して家を建てると、上限100万円まで補助金の交付を受けられます。詳しくは高知県庁HPをご覧ください。



こうちの木の住まいづくり [検索](#)

### 取材協力：木と人・出会い館

木の良さを知りたい、木の家を建てたいと考えている方は、住宅について気軽に相談できる場所「木と人・出会い館」まで、お気軽にお問合せください。

住所／南国市緑ヶ丘1丁目1201-5  
TEL／088・879・3304  
営業時間／10:00～17:00  
休館日／火・水



木と人であい館 [検索](#)



廊下をぐるぐる走りまわる子どもたち。「どうぞ、ご自由に」。木の家で、のびのび、すくすく育ってね。

アンケートにご協力ください

① もりりんをどこで入手されましたか？(1つだけ)【必須】

- ① 学校、幼・保育園などの教育機関(家庭配布を含む)
- ② 観光施設や道の駅、直販所など
- ③ 図書館、郵便局、銀行、病院などの公共的施設
- ④ スーパーマーケットなどの量販店
- ⑤ 住宅展示場
- ⑥ その他( )

② なぜ、もりりんを読もうと思いましたか？(1つだけ)【必須】

- ① 「mamori」を読んでいたから
- ② 森林に興味があったから
- ③ 表紙の写真がよかったから
- ④ 表紙に書かれているタイトルが気になったから

気になったタイトルをお選びください(いくつでも)

- 特集 げんきな山のクライテリア
- 木の家が持つ魅力をチェック。【快適な暮らし】
- 森づくりへの馳走
- イロイロ詰まった積み木のコーナー
- 森からの豪華プレゼント
- その他(具体的に)

⑤ その他( )

③ どのページが面白かったですか？ また、どのページに興味を持ちましたか？(いくつでも)【必須】

- 特集 げんきな山のクライテリア
- 木の家が持つ魅力をチェック。【快適な暮らし】
- 森づくりへの馳走
- イロイロ詰まった積み木のコーナー
- 森からの豪華プレゼント
- 表紙
- YouTubeの映像
- AR動画
- その他(具体的に)

④ 高知県が行っている森林環境税や本誌について、ご感想やご意見をお願いします。

.....

.....

.....

⑤ もりりんクイズ

YouTubeチャンネル「もりりん」に、もりりんクイズをご用意いたしました。情報誌「もりりん」の裏表紙から、クイズの正解を言っている人をお選びください。(1つだけ)

- [A] マモリン
- [B] モリリン
- [C] ハーリー

\*アンケートへのご協力、有難うございました。

イロイロ詰まった積み木のコーナー

「緑の募金」は、高知県森と緑の会が窓口となり、県内の団体や法人、ボランティアグループによる間伐作業など森林の整備、シカ食害防止のためのネット張り、森林環境教育など緑化の推進に使われています。

県内のサニーマート、サンシャインチェーンなどのスーパー・量販店、コンビニ・ホームセンターなど、暮らしに身近な場所に「募金箱」が常設されています。元気な森づくりに一人ひとりの応援を!!

寄付で森林保全「緑の募金」を  
ご存じですか



問合せ / 公益社団法人 高知県森と緑の会  
TEL / 088-855-3905  
http://www.moritomidori.com/



高知農業高校とのコラボWSの様子です。

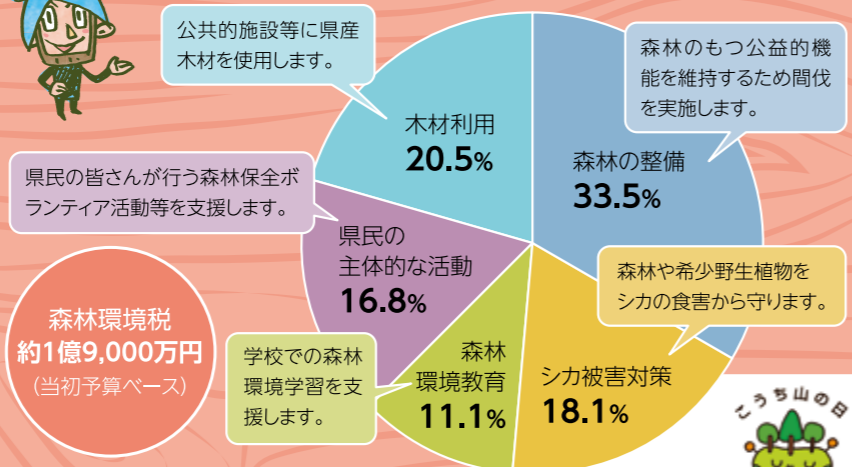
問合せ / Hamart 薊野  
住 / 高知市薊野西町3-8-15  
TEL / 0120-037-437  
営 / 8:00~21:00 休 / なし



もりりんイベントへGO!  
木のワークショップを  
どうぞ

森に行かなくても、木材に  
触って木と親しくなる場所が  
あります。「ハマートDIYラ  
ボ」では毎月定期的にワーク  
ショップを行なっています。し  
かも手ぶらでOK! 詳しくは  
店頭の子ラシ・HPでご確認く  
ださい。

平成30年度森林環境税の使いみち  
森林環境税はこんなことに使われています。



森林環境税は高知県林業環境政策課のHPでもお知らせしています。  
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kankyousei.html



わたしたちが参加できること  
森づくりへの馳走

[ 森林ボランティアくらしと炭焼きの会 ]

森を育てることは  
自分を育てること。  
森を守り、育てるため  
森林ボランティアが、  
今日も森を馳走します。



この日伐ったのは、大雨の影響で倒れかけたカシの木。



堅く焼けるカシの木は、火持ちの良い炭になります。叩くとキンキンという金属音がするのは、焼くことで空洞になった内部に音が共鳴するためです。

あなたも参加しませんか?  
2019年1月、香南市土佐山田町  
大平の森で、炭焼き体験がおこなわ  
れました。作業は、森の木の伐採からス  
タート。指導するのは、情報交流館  
ネットワーク構成団体のひとつであ  
る、森林ボランティア「くらしと炭焼き  
の会」のメンバーです。  
「この森は、かつて、人々と密接にか  
かわる里山でした。」「くらしと炭焼き  
の会」代表の岡崎正寛さんは説明し  
ます。  
薪や炭などの利用が減少すること  
も、森は放置されていきました。  
森を放置すれば、大きく育つ木もあ  
りませんが、大きな木に日光をさえぎら  
れた小さな木は枯れてしまい、限られ  
た樹種しか育たない森になります。そ  
れぞれ樹種ごとに木の実を食べに集  
まる昆虫や小動物の種類は違うため、  
偏った種類の生物しかいない森になっ  
てしまうのです。つまり、適度に木を  
伐ることが、結果的に樹種を増やすこ  
となり、森の多様性回復にもつなが  
るのです。  
炭はおみやげにお持ち帰り。  
伐った木は素晴らしいエネルギー

【くらしと炭焼きの会】  
体験活動については、高知県立森林研修セ  
ンター情報交流館までお問合せください。

高知県立森林研修センター情報交流館  
TEL / 0887-52-0087  
https://www.k-kouryu.net/

取材の様子はこちらから→  
you tube チャンネルもりりん



資源になるのだから、森の循環を促  
すためにも、もっとみなさんに活用し  
てほしいと岡崎さんは話します。実際  
に、焼いた炭を持ち帰り、自宅の七輪  
の燃料として活用している岡崎さん。  
「季節の味覚を七輪で焼けば、格別に  
美味しく食べられるんだ。」と、満悦  
の表情です。他のメンバーも、下駄箱  
の脱臭炭や湿気とりなどに利用でき  
て重宝しているといえます。また、ボ  
ランティア参加者には、毎回、お礼を  
兼ねて、炭をお持ち帰りいただくそう  
です。それを聞いて、俄然参加したく  
なりませんか?  
また、情報交流館で「ピザ焼き体  
験」が開催される時など、窯の燃料  
としてこの炭が使用されているそう  
です。  
「良い炭ができたときの達成感が、何  
物にもかえがたい。寝る前なんです  
よ。さつきまで、声を掛けづらいほど  
真剣に作業していたみなさんが、パツ  
と振り向き、表情を明るく輝かせな  
がら、岡崎さんの言葉に何度も頷き  
ます。  
彼ら、森林ボランティアは、今日も  
森を馳走(※)します。  
※馳走: 走り回ること。奔走すること。

県内のボランティア団体の紹介をはじめ、県民参加の森づくりを支援するHPがあります。→ 森・ヒト・こうち応援ネット http://morihito.jp

いいモノ、いい暮らし①  
安心安全な  
木のおもちゃ

高知県産材を材料に、女  
性の職人さんたちによって一  
つ一つ丁寧に仕上げられた  
「おしろくちやぶちやぶち」。安  
芸市に工房を構える、木工玩  
具メーカー「山のくじら舎」  
の人気商品です。



問合せ / 株式会社 山のくじら舎  
TEL / 0887-34-4500 https://yamanokujira.jp

# 森からの豪華プレゼント

本誌へのご意見、ご感想をお聞かせください。「もりりん」の読者アンケートに答えてくれた方に、素敵なプレゼントをご用意しました。締め切りは2019年4月30日(火)までです。抽選結果は、森林環境情報誌もりりんTwitterアカウントにて、ペンネームまたはイニシャルで発表いたします。ふるってご応募ください。→ <https://twitter.com/moririnkochi>

アンケート回答・プレゼント応募はこちらから。  
または右のハガキでお寄せください。



## Present 1 オーベルジュ土佐山ペア宿泊券

高知市土佐山の豊かな自然に囲まれたオーベルジュは、温泉と、旬の地元食材を使ったとびきりのごちそう、心地良い空間で、心と体を癒してくれます。



1組2名

オーベルジュ土佐山  
住/高知市土佐山東川661 TEL/088-850-6911  
<http://www.orienthotel.jp/tosayama/>

## Present 2 世界が認めた「monacca」bag-kaku

原木丸太の選定や木のスライスなど、全工程に熟練の職人が携わる、杉の間伐材を使った世界で唯一の成形デザインによるバッグです。



1名

販売しているショップ/てんこす、馬路村ふるさとセンター まかいちよって家 など  
<https://monacca.jp/>

サイズ:W46×H30×D7.0cm  
2006グッドデザイン賞受賞

## Present 3 おふろでちやぷちやぶ

11種類の海の生き物をモチーフにした、お風呂に浮かせて網ですくって遊べる木のおもちゃです。ヒノキの香りも楽しめます。



3名

製造販売/株式会社山のくじら舎  
安芸市川北甲1967 TEL/0887-34-4500  
<https://yamankujira.jp>

サイズ:W220×H50×D150mm  
2011年 日本商工会議所会頭賞受賞

熱爛ドラゴン改め、もりりんドラゴンの編集後記

仕事…。そう銘打ってコンビ名を変えられ、早朝の山を歩かされた。それと引き換えに、大自然の中では子供たちの笑顔が輝いていた。それだけで良かった。あくる日、体中では筋肉痛と言う名の多くの負債が露見された。事前に聞いていた仕事とは話が違ふ。よし、クレームをいれよう(笑)。というわけで、僕たちが同行した取材の悪戦苦闘をYoutube「TV熱爛ドラゴン」で公開中です!

こちらに  
62円切手を  
貼って  
投函して下さい。

Post Card

7 8 0 - 8 0 5 0

高知県高知市鴨部1476-11  
ロイヤルハイツ102

「季刊高知」内  
もりりん 編集部 行

氏名 必須	性別 男・女	年齢 歳
住所 必須		
連絡先 必須		
ペンネーム		
読者プレゼント 希望番号 必須	番	裏面のアンケートにご記入がない場合は、無効とさせていただきます。

※このアンケートで取得した個人情報は、ご本人様の同意がない限り、「読者プレゼントの発送」以外に使用いたしません。また、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。お答えいただいた内容のうち、個人を特定しない情報で統計データを作成し、今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。

## YouTubeチャンネル「森林環境情報誌もりりん」

ARのある写真にスマホをかざすと写真が動き出す!詳しい使い方はYouTubeチャンネル「もりりん」のTOP動画をご覧ください。



## もりりんクイズの正解は・・・



高知県林業振興・環境部 林業環境政策課  
〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号  
TEL/088-821-4586 FAX/088-821-4576  
E-Mail/030101@ken.pref.kochi.lg.jp  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/>



森林環境税は、県民みんなが負担することで森のかかわりを認識し、森を守っていくという森林保全を目的とする高知県の税制度です。県民税に年額500円を上乗せするもので、個人、法人ともにご負担をいただいております。